

放射能測定結果と今後の対応について

平成 23 年 3 月の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の放射性物質漏れ事故の影響で、群馬県内でも飛散した放射性物質が原因とされる通常より高い濃度の放射線量が検出されたことを受けまして、本校の学生及びその保護者・教職員への安全安心な教育環境の確保のため、平成 23 年 11 月より毎月 1 回放射能測定を平成 25 年 10 月までの 2 年間、実施・公表し、監視してきました。

その結果については、下記のグラフのとおりです。

本校では、この 2 年間の測定データを検証した結果を踏まえまして、今後の対応について、下記のとおり行っていくこととなりましたので、お知らせいたします。

単位： $\mu\text{Sv/h}$



◆検証結果◆

測定開始から現在（平成 25 年 10 月）までの数値をみると、若干ではありますが、下がり傾向にあります。これは、測定開始以降、放射性物質の飛散がないことを示していると思われます。また、平成 23 年 10 月 21 日に国（内閣府、文部科学省、環境省）から示された対応方針では「地表から 1 m の高さの空間線量が周辺より毎時 1 マイクロシーベルト以上の高い数値が測定された箇所」については、除染を行うことを検討するよう謳っており、その方針に本校の測定データを照らし合わせますと、本校の地表から 1 m の高さの数値については、現在平均 0.049 マイクロシーベルト（18 ポイントの平均値）であり、また個別ポイントでも最も高い数値は、0.07 マイクロシーベルトでした。この数値は、除染を行うことを検討する基準の約 1/14 の数値であり、人体に影響が極めて少ないレベルと判断できます。

◆今後の対応◆

このことを踏まえまして、現在継続して行っている放射能測定・公表については平成 25 年 10 月をもって終了とし、その後、同測定を実施する必要性があれば、そのときに応じスポットで必要箇所の測定を行うこととしました。

以上